

## 社会で活躍する卒業生

学生時代の積み重ねが、  
看護の現場で生きている。

仙台赤十字病院 中央手術室 看護係長  
高橋周太郎さん(2003年3月卒業)

在学中は、授業で「EBN (Evidence -Based Nursings)」と言われつづけ、自分が行う看護行為の根拠を常に考えさせられました。現在勤めている仙台赤十字病院に就職してからも、日々「その根拠は、何なのか？」を十分に調べることで、自信を持って患者さんと接することができているように、宮城大学での学びが生かされていると感じています。

また、私自身もそうでしたが、社会や看護の現場に出た時、たくさんの方と出会います。その際、一人ひとりの患者さんを理解するためには、多くの知識や技術が必要になります。だからこそ、大学ではなるべく多くの知識を身につけてみてください。社会や看護の現場で得る経験と統合することにより、きっと看護の幅は大いにひろがるはずです。



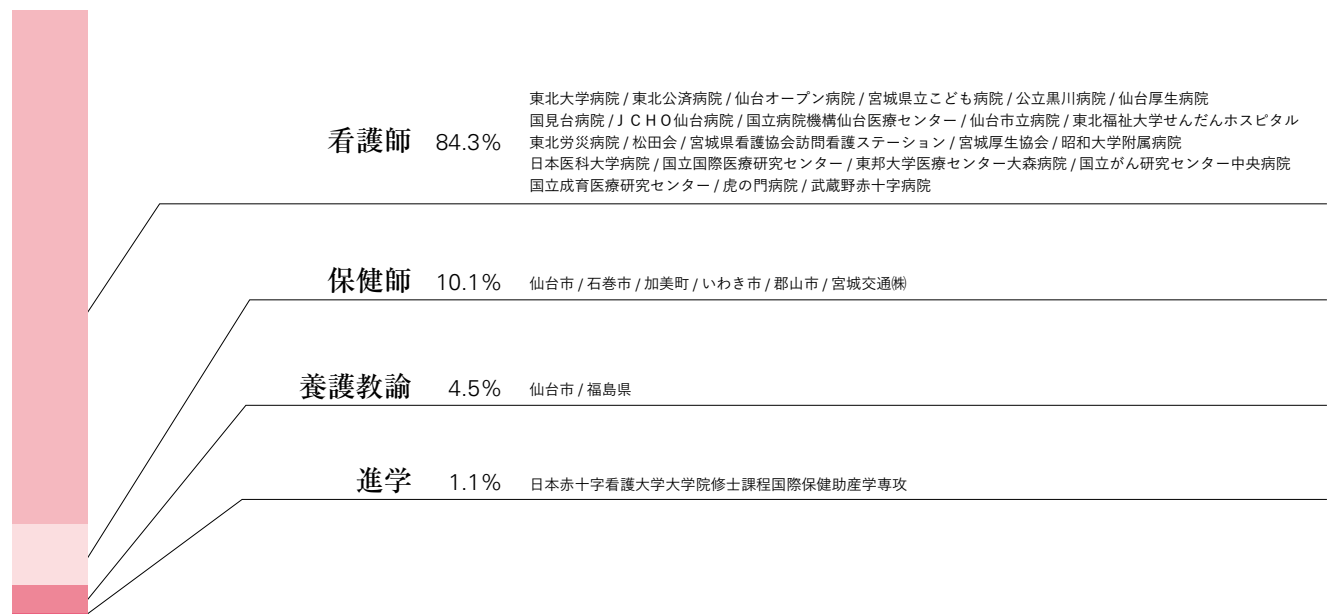
Graduates 【卒業生の活躍】

看護学群

## 進路データ

### 進路データ

### 主な進路実績の一例



進路データは、2019年3月19日現在の看護学科の実績を掲載